平成30年度 第2回「準デジタル・アーキビスト」資格取得講座・資格認定試験 予定表

【期日:2019年2月23(土) 会場:沖縄女子短期大学】

2019.1.21 作成

時間	内	容(講義·実習)	講師	
09:05 09:50	【講義】45分 [1章] デジタルアーカイブ概論 [2章] 文化の理解	 ① デジタルアーカイブとは 意味 歩み 何を学ぶか ② デジタルアーカイブの構成 デジタル記録の発展 (マルチメディアとは) デジタルアーカイブの作成 提示の構成 ③ デジタルアーカイブの管理・流通の課題 (和田家の例) ④ 文化と文化財 文化財の種類と選定・登録 	加藤 真由美新垣 さき	
休 憩 (5 分間)				
09:55 10:40	【講 義】45分 [4章] 資料の短期・長期保存と利用	 メタデータとシソーラス メタデータ標準化 自然語と統制語 シソーラスの用語 資料の一時保管 (Item Pool) と利用 資料の短期利用、長期保管(Item Bank) 概念 長期保管の課題 メタデータの記入実践 	眞喜志 悦子	
休 憩 (5 分間)				
10:45 11:30	【講義】45分 [5章] デジタルアーカイブの利用	 デジタルアーカイブの利用 プレゼンテーションの計画・方法 デジタルアーカイブの活用 資料提示、課題解決、知的創造(作品、文化活動の収集) 	加藤 真由美	
休 憩 (5分間)				
11:35 12:20	【講義】45分 [2章] 資料の収集 いろいろな撮影方法	① 資料の収集準備 撮影記録内容と機材の準備 ② 撮影基礎【絞り、シャッタースピード、被写界深度、WB、ISO 感度】 ③ 具体的な記録・撮影 【撮影台撮影(回転台撮影 影なし撮影)、接写台(文書)撮影、多方向同時撮影(民俗芸能・舞)、パノラマ撮影(全方位 360)】	加治工 尚子	
昼休み(60 分間)				
13:20 14:50	【実習】90分 [2章] 資料の収集 撮影・記録実習	 ① 撮影と収集記録 多方向同時撮影 4方向 ② デジタルアーカイブを進めるためのいろいろな撮影記録実習 A パノラマ撮影 B 影なし撮影・接写台撮影 C 被写界深度実験 ③ マルチコプタ(ドローン実習・体育館) 	加藤 真由美加治工 尚子 眞喜志 悦子 又吉 斎 新垣 さき 比嘉 勇太	
休 憩 (10 分間)				
15:00 15:30	【講義】30分 [3章] 資料の選定のための評価と著作権 個人情報保護法、プライバシー	 資料を選定評価する 評価の課題 評価の事例 著作権(財産権) 著作者人格権 自由利用マーク 著作権の契約 個人情報保護とプライバシー OECD 8 原則 個人情報保護法の 5 原則 パブリックドメイン、流通、CCO等 	又吉 斎	
休 憩 (5 分間)				
15:35 15:55	【直前対策特別講座】20分	準デジタルアーキビスト資格認定試験 直前対策	加治工 尚子	
休 憩 (5分間)				
16:00 17:00	【認定試験】60分 準デジタル・アーキビスト資格認定試験	(NPO 法人日本アーカイブ協会)	加治工 尚子	



デジタルアーカイブとは

デジタルアーカイプとは?

「アーカイブ」は、価値のある資料を保存することです。資料を未来に残す 役割を担っています。 また「デジタルアーカイブ」は、未来に役立てるために過去や現在の情報を デジタルデータとして保存し、それらを社会へ発信する活動のことです。

「デジタルアーキピスト」とは、デジタルアーカイブを行うための知識と技 術を持った人材のことです。情報はその後の活用により、新たな企画やアイ デア、文化を創造する基盤になるため、重要な役割を担っています。

「デジタルアーキビスト」には、 ①文化の理解 (資料の調査や必要な情報の判断) ②宿報の記録と利用 (デジタル化・保存・Webなどで活用できる技術) ③法と倫理 (著作権などの権利の理解と対応) の 3 つの能力が必要です。



デジタルアーカイブの種類

地域文化デジタルアーカイブ

地域の魅力を知り、発信していくことは、地域で仕事を生み、豊かな生活をおくることにつながります。 また地域の問題を解決し、地域を発展させていく基 礎データとしても、デジタルアーカイブが必要とさ

など、日本は歴史と伝統文化に 恵まれています。これらを活用 し発展させ、知的で豊かな生活



旅行情報はWEBやSNSを使って情報収集をするのが 主流となってきました。知的好奇心を刺激する魅力 的な観光情報を発信すること を成功させる。地域資源や伝 統文化などを整備し観光資源 へと免展させるなど、観光業 界でもデジタルアーカイブの 活用が注目されています。



デジタルアーカイブの種類

企業デジタルアーカイブ

企業においては信頼こそが最も大切で、顧客や取引 相手からの信頼により、企業経営は成り立ちます。 企業アーカイブの整備は、信頼を得るための方法の 一つです。経営理念、財務内 容、製品情報に関する資料を 整理・保予に活用する中で、 企業経営の透明性を高め、説 明責任を果たし、事業や取引 が法令に適ったものであるこ とを手にませ

とを示します。 社史

デジタルアーカイブの活用力は教員にも必要な時代 となりました。 算数をビジュアルに提示する、理科の実験を記録してじっくり観察する、社会の学習に地元の映像を使うなど、様々な学習シーンで 活用されています。生徒の学 習の記録もデジタルアーカイ



デジタルアーカイブは多様な分野と結びつき、それらの記録と保管、利用、創 造へとつなげることができます。

デジタルアーカイブの目的

デジタルアーカイブの目的は、これまでの紙を用いた記録の 代わりに、さまざまな資料*をデジタル化し、国内外の流通 **や次世代への文化の伝承とあわせて、①資料の提供や提 示、②多様な分野の課題解決、③知的創造などへの利用です。

- 映像(動画・静止画)・音声・文書(テキスト)・数値(分析データとその結
- **デジタルデータの特徴 『デジタルアーキビスト入門』 P.13

デジタルアーカイブの特徴

デジタルアーカイブの特徴は以下の3つにあります。

- ① 多様なデジタル資料の記録と保管
- ② 資料の適否における選定評価
- ③「各分野の文化・知識の伝承」と「メディアの利用」
- ●これまでと大きく変わる点は「収集」「保管」だけなく、資料の選定 評価や、利用につながる提供が含まれている点です。

デジタルアーカイブの対象

デジタルアーカイブの対象は、文化財や文化活動等の歴史的 の価値のあるものから、暮らしのなかで利用する道具や玩具 まで多種多様で、わたしたちの身の回りにあるものすべてが その対象になります。

身の回りにあるものすべてが文化があるからです。

デジタルアーカイブのプロセス



デジタルアーカイブのプロセス ●デジタルアーカイブのWBS (作業分解図) 資料の 資料の 情報の アーカイブ・の 記録と整理 保存と管理 発信と伝達 評価と改善 収集準備 ・データの保存 情報発信 アンケート作成 収集収集後の処理 データの管理データの登録 成果物 調べた情報 取材した情報 取りまとめた情報 成果物 <u>成果物</u> アンケートの集計 分析データ 修正したデータ <u>成果物</u> 利活用したデータ テータベース 管理情報

デジタルアーカイブに必要な能力

デジタルアーキビストとして、身につける必要がある能力として以下の3つが挙げられます。

また、これらに対する知識も必要です。

- ①各分野の文化資料(過去や現在の記録、活動、資料の体系等)の社会的・文化的背景や意義、価値を理解する力。
- ②デジタル技術を使い、多様な記録・保管・管理・利用ができるカ。および、そのサポートできるカ。
- ③記録・保管・管理・利用にあたり、著作権・プライバシー、 倫理・慣習に配慮できる力。

岐阜女子大学のデジタルアーカイブ

2000年から全国の地域資料をデジタルアーカイブ化し、約20万件保管しており、教育・研究活動等に利用している。

そのうち沖縄県の地域資料は約2万件あり、「沖縄デジタルアーカイブ」として保管・利用している。



岐阜女子大学のデジタルアーカイブ

2万件の沖縄の地域資料について



実際のデジタルアーカイブに触れる

「実際のデジタルアーカイブに触れる」として、グループ ワークを準備しました。

岐阜女子大学の地域文化デジタルアーカイブを利用します。

具体的に、地域文化デジタルアーカイブとして 「どのような資料を収集しているのか」 「自分の専門分野ではどのような資料を収集したらよいのか」 グループワークをとおして、考えてください。

第4章 資料の短期・長期保存と利用

準デジタルアーキビスト資格取得講座

何の写真でしょうか?



長良川の上流の様子

長良川を知ろう~あなたの自然体験活動を支援~より

じゃあ、何を記録すればいいの?



川の名前

地名

いつ撮影したか

誰が撮影したか

水質

------長良川を知ろう〜あなたの自然体験活動を支援〜より

メタデータとは

資料を整理し、保存(保管)する過程で... その資料が何であり どのような内容のものなのか等

説明がわかるようにするためのもの

「データのデータ」ともいわれる

メタデータの国際標準は、ダブリン・コア

ダブリン・コアのメタデータ基本要素

1 title (タイトル)

9 format (形式)

2 creator (作成者)

1 0 identifier (資源識別子)

3 subject (主題及びキーワード) 1 1 source (情報源)

4 description(内容記述)

1 2 language (言語)

5 publisher (公開者)

1 3 relation (関係)

1 4 coverage (対象範囲)

6 contributor (寄与者) 7 date (日付)

1 5 rights (権利管理)

type(資源タイプ)

メタデータの記録方法

なるべく詳しい方がいいけれども...

資料の管理者がそれぞれ勝手なメタデータを 記録していると、求める情報が見つけられな くなることもある

記録するには、ルールづくりが必要!

どんな言葉で記録するのか

自然語と統制語

日常的に利用する用語が自然語であるのに対し、統制 語はその意味や使い方が統制されている。シソーラスに は、一般的に統制語が用いられる。

シソーラス

ある言葉(用語)と言葉の関係を、わかりやすいよ うに階層構造にまとめたもの

シソーラスの記号

BT(broader term 広義語)

NT (narrower term 狭義語)

RT (related term 関連語)

SN (スコープノート)

BT(broader term)広義語

より広い意味を持つ件名。「○○は△△の一種である」または 「○○は△△の一部である」といえる時、△△に当たるもの。 例:タルト<洋菓子

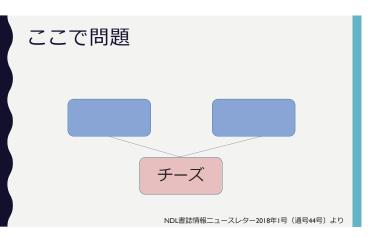
NT (narrower term) 狭義語

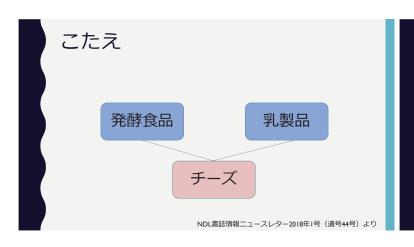
より限定された意味を持つ件名。「 $x\times$ は \bigcirc \bigcirc の一種である」または「 $x\times$ は \bigcirc \bigcirc の一部である」といえる時、 $x\times$ に当たるもの。例:夫婦x

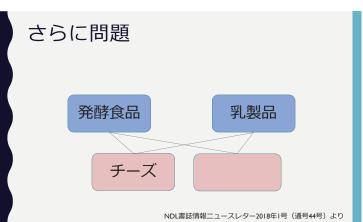
RT (related term)

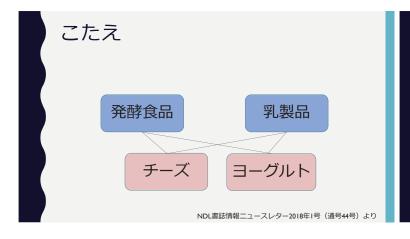
その件名から連想される件名。 例:幼稚園と小学校

NDL書誌情報ニュースレター2018年1号(通号44号)を参考







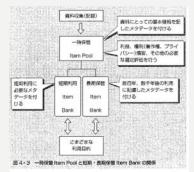




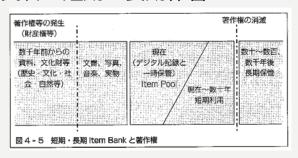
メタデータの記入実践

記録用紙に、メタデータを記入してみましょう

資料の短期・長期保管



資料の短期・長期保管



長期保管の場合は、スコープノート(用語の簡単な説明)が必要なことも

資料の短期・長期保管

- ①収集、記録した資料を一次保管する(Item Pool)
- ②現在から数十年後までの利用を考えた短期利用 (短期Item Bank)
- ③数十年〜数百年後までの保存を考えた長期保存 (長期Item Bank)

時代とともにどんなメタデータが必要なのか、これからも 研究していく必要がある。

第5章 デジタルアーカイブの利用

岐阜女子大学 加藤真由美

デジタルアーカイブの担い手

デジタルアーカイブの担い手は、図書館、ミュージアム(博物館、 美術館・資料館など)、公文書館、企業、市町村の施設等、家庭、 教育機関、個人等です。 MLAC連携

デジタルアーカイブの対象は、文化財や文化活動等の歴史的の価値のあ るものから、暮らしのなかで利用する道具や玩具まで、多種多様でわたしたち の身の回りにあるものすべてがその対象になる。

デジタルアーカイブは多様な分野と結びつき、それらの記録と保管、利用、創 造へとつなげることができる。



多様な分野とデジタルアーカイブ

■ 図書館 × デジタルアーカイブ

日本経済新聞 博物館や図書館、「移管」で地域 活性化 中教審で議論 2018/4/9 20:32

●これまでの図書館の主な役割 図書の受入れ/管理/貸出/レファレンス

●これからの図書館の新たな役割 図書館においてもデジタル化が進み、地域の図書館は市民の身近 な情報の拠点としての役割を期待されている。 (ex.情報館)

具体的には、地域住民の暮らしに密着した情報として、地域の文化 活動や産業等の情報を収集し、ニーズに応じた提供を行う。

多様な分野とデジタルアーカイブ

■田川市立図書館 筑豊・田川デジタルアーカイブ https://trc-adeac.trc.co.jp/WJJ1C0/WJJS02U/4020605100

■秋田県立図書館 秋田県立図書館デジタルアーカイブ https://www.apl.pref.akita.jp/

■岡山県立図書館 デジタル岡山大百科 http://digioka.libnet.pref.okayama.jp/

■国立国会図書館 レファレンス共同データベース https://www.shibusawa.or.jp/center/ba/bunken/doc009 shiseido.html

多様な分野とデジタルアーカイブ

■ 教育機関 × デジタルアーカイブ

3. 教育で必要とされる [デジタルアーキビスト] の専門性

デジタルアーカイブの力は教員にも必要な時代です。たとえば、勤務する地域の歴史や文化、 について開診・記述して、その学校に応じたデジタル教材を作成できる力を身につけることが 教材づくりには、本学が開発した「労場よりらい」(教材用制)などを作れることもできます。



文部科学省 平成30年度私立大学等改革総 合支援事業 【タイプ 1:教育 の質的転換】 項目®ティーチング・ポート フォリオ

多様な分野とデジタルアーカイブ

■ 企業 × デジタルアーカイブ

2. ビジネスで必要とされる [デジタルアーキビスト] の専門性

デジタルアーキビスト有資格者は北海道から沖縄まで全国に広がり、約 5,000名が多様なビジネス分野で活躍しています。

岐阜女子大学は、上記の認定機構の養成校として、全国で取得講座を実施しています。本学のカリキュラムとしても取り入れており、デジタルアーキビ ストに関する教育科目を履修し、試験に合格することで、資格を取得するこ とができます。

企業デンタルアーカイブ 企業においては依頼こそが最も大切なキーワードの一つです。 経営や南州相手から成前されてこそ、企業経営は成立立ちます。 企業アーカイブの整備はこうした成前を得るための方法の一つです。対容性含、財産内容、契高信格と に関する音目を支軽・保存いる語する中で、全要研究の適用する会か、返回指令を実です。或いは事 東や市引が活合に適ったものであることを示す。こうしたことが企業には強く求められています。



多様な分野とデジタルアーカイブ

企業において、経営における様々なアンケートや分析・評価・改善、 また、そのプロセス、手法、今後の企業活動に活かすことができる 大切な財産である。

それらをデジタルアーカイブ化し、保管・利用することにより、社 会からの信頼を得たり、問題解決や収益のアップ、業務の効率化を 図ろうとする意識が企業にも浸透しはじめた。

世界、特に欧米ではデジタルアーカイブの意識は高く、日本は遅れ をとっているといえる。

多様な分野とデジタルアーカイブ

■ 資牛堂

■公益財団法人渋沢栄一記念財団 情報資源センター 松崎裕子 資生堂のアーカイブズ: サステナビリティとトップ・マネジメント・チェンジ

■日本新聞協会広告委員会 新聞広告データアーカイブ 資生堂 女性の願いとともに歩み続ける https://www.pressnet.or.jp/dadarc/ex/ex.html?cno=a https://pressnet.or.jp/dadarc/ex/ex.html?cno=a0707

■日本コカ・コーラ株式会社 世界プランド=「継承」+「活用」? 資生堂とコカ・コーラ社に共通する3つのこと https://www.cocacola.co.jp/stories/shiseido_and_coca-cola

提示・プレゼンテーションの計画・方法

デジタルデータ(情報)はその存在を認知され利活用されなければ、 価値はないに等しい。そのため、デジタルアーカイブの計画・作成 の段階から利用につなげるための提示や提供方法について考える必 要がある。











提示・プレゼンテーションの計画・方法

計画・方法で大切なこと

- 構築するデジタルアーカイブの利用対象者をあらかじめ設定する。
- 設定した利用者にメディアやコンテンツ(内容と広報、利用案内等含む)が 正確に伝わる方法を検討する。
- ●デジタルアーカイブの趣旨や目的に沿って、制作の準備や実際の制作を行う。●利用者の視点に立ち、ユーザビリティ(使いやすさ)とアクセシビリティ(アクセスのしやすさ)を検討する。
- ●著作権や肖像権、プライバシー権等、法律や倫理への配慮も忘れてはならな

提示・プレゼンテーションの計画・方法

「計画と方法」の際に役 立つのが趣意書である。 構築する前に作成するも ので、<u>デジタルアーカイ</u> ブの趣旨や目的などが記 された書類 (明文化)で ある。これに基づき計 画・方法、プレゼンテ ションを検討していく。

(1) 摄影器管

岐阜女子大学では、広く一般の方々への学びの場として、年間、様々な公開講座を開講して

において、情報系展示をテーマに実習を行うことといたしました。 実習では、岐阜市役所・岐阜駅近辺の社幸をデジタルアーカイブし、「岐阜市 社幸歴史さん

う。お願いを申し上げます。

実際の趣意書 (一部)

平成26年岐阜女子大学公開講座 博物館学

デジタルメディアの利用の意義

現在では技術の進展により、同じデジタルデータを利用して、印刷 メディア、マルチメディア、通信メディア等さまざまな提示メディ アに加工することができる。



動画から静止画を切り出し動画から音声を拾ってテキスト化

それらを組み合わせて、雑誌や新聞の記事に加工したり、

リーフレットを作成したり、webに掲載したり、ユーチューブへ配信したり、SNSで発信したりすることができる。

適切なメディアに変換できる。

デジタルメディアの利用の意義

デジタルデバイド

デジタルデバイド(情報格差)とは、情報技術の有無により情報へ のアクセスに格差が生じ、情報の利用により利益・不利益が生じる こと。格差が生じる要因は地域、年齢、所得など、さまざま。

利用者の多様なニーズを分析し、多様なメディアでの資料提供を行 う。<u><mark>デジタルアーキビストして、デジタルデバイドが生じないよう</mark></u> に配慮することも求められる。

デジタルアーカイブの提示のしかたの評価

一般的な評価法として量的評価と質的評価がある。

量的評価 具体的な数値をもとに評価する方法であり、結果が明確でわかりやすい。 質的評価 利用者からの意見などの調査によるもので、時間と手間がかかるが具体的な意見を もとに評価することができる。

デジタルアーカイブでは、評価が高いwebページであればリピータが増え、アクセス数が増え るため、webページにおいてはアクセス数が分かりやすい評価であるといえる。

しかし、それだけでは評価が良いと判断できないため、岐阜女子大 学では、評価において、次の4つの視点を設けている。

デジタルアーカイブの提示のしかたの評価

評価の4つの視点と具体的な判断材料

①利用者の理解度	利用者へのアンケートの分析(イメージ調査・理解度 チェック・行動分析)等
②社会への貢献度	政策決定への関与、公的機関等他のwebサイト からのリンク数、引用数 等
③開発者のシステム改善	システムの仕様書のチェックや開発中のテスト、 最新技術への対応
④資料の内容の整備・改善	作成者だけでなく、外部やヘビーユーザ、一般 の利用者からの意見

デジタルアーカイブの提示のしかたの評価

評価は、**デジタルアーカイブのプロセス**の次のステップである改善で利用されるため、客観的な評価が必要となる。

また、このような評価は、信頼されるデジタルアーカイブを構築していくうえで、どのような調査を行ったのか、調査対象や数・年齢層、結果・分析なども含め、できる限り公開することが大切である。

利用メディアの多様性の支援

今後、利用者が個々の特性やその時々の利用環境に合ったデジタル メディアを選択し、利活用していくことになるだろう。

現在、考えられる支援としては、利用者が二一ズに合ったメディアを選択・加藤・利用ができるよう、①利用者の二一ズの調査、②多様なメディアでの資料収集や、③デジタルアーカイブの利用案内、④利用者への技術指導などが挙げられる。

これらを丁寧に行っていく必要がある。

ユニバーサルデザインとDAの流通・利用

デジタルアーカイブのもうひとつの役割

情報弱者(子ども、外国人、障がい者、高齢者)にも、デジタルデータの特性を活かして、最適な映像や音声、コンテンツ等、情報提供するユニバーサルデザインの実現が挙げられる。 例)電子書籍 ⇒ 拡大機能/読み上げ機能等

また、ネット環境の充実は、検索行動や、SNSへの情報発信・共有 行為を定着化・増加させた。 このような環境や社会の変化をしっか りと捉え、分析と対応できる力が必要となる。

デジタルアーカイブのための撮影方法と映像資料

1. 基本の撮影







